

CASBEE 広島における重点項目の環境配慮設計概要

トータテ東白島PJ(西棟)

CASBEE-広島 (2010年.ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目	評価点	重み係数	内 訳				
<b>■ 1. 「地球温暖化対策」の推進</b>							
<b>1.1 建物の熱負荷抑制</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.09	Q1	室内環境	2	温熱環境	
	3.0	0.46			2.1	室温制御	
	3.0	0.45	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制	
小計	3.0	0.32					
<b>1.2 自然エネルギーの利用</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	
					2.1	自然エネルギーの直接利用	
					2.2	自然エネルギーの変換利用	
小計	3.0	0.10					
<b>1.3 設備システムの高効率化</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化	
全住戸にエコキュートを採用							
小計	5.0	0.18					
<b>1.4 設備システムの効率的運用</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	
					4.1	モニタリング	
					4.2	運用管理体制	
小計	3.0	0.02					
<b>1.5 資源・マテリアル対策</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	
自動水栓、節水型衛生器具の採用	3.0	0.11	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	
積極的なグリーン購入法適合品の採用	3.0	0.01	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	
フロン・ハロンの使用回避	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	4.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	5.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	2.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	4.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
小計	3.7	0.26					
<b>1.6 ライフサイクルCO2排出率</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.7	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮	
全住戸にエコキュートの採用							
自動水栓、節水型衛生器具の採用							
リサイクル材の積極的な採用							
小計	3.7	0.11					
<b>1. 「地球温暖化対策」の推進の評価</b>							
	<b>3.6</b>	<b>0.72</b>					
<b>■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進</b>							
<b>2.1 温熱環境の向上</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出	
	3.0	0.25	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	
	3.0	0.26	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	
					3.2	敷地内温熱環境の向上	
					2.2	温熱環境悪化の改善	
小計	2.0	0.97					
<b>2.2 交通負荷抑制</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	5.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	
住戸数に対し駐車場を100%以上確保するとともに、自走式駐車場を採用し、入出庫にもなう渋滞を回避した駐輪場を200%確保					2.3	地域インフラへの負荷抑制	
小計	5.0	0.03				3	交通負荷抑制
<b>2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価</b>							
	<b>2.1</b>	<b>0.16</b>					
<b>■ 3. 「長寿命化対策」の推進</b>							
<b>3.1 耐用性の向上</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	4.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
住棟は基礎免震を採用	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
建物外壁には耐用年数40年以上の仕上材を採用	2.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
耐久性のある、設備配管を採用	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	5.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
小計	3.4	0.50					
<b>3.2 設備の更新性</b>							
(コメント) ※設計の計画段階に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
小計	3.0	0.50					
<b>3. 「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)</b>							
	<b>3.2</b>	<b>0.12</b>					
<b>■ 重点項目の総平均(上記3項目)</b>							
	<b>3.3</b>						